

リクルートスーツを選ぶときに

入学式で着用するスーツを、就職活動で着用すると思います。就活に適さないリクルートスーツを購入してしまい、就職活動の際、買い替えを勧められた学生がいます。過去に買い替えを勧められたケースを参考に、長く着用できるスーツを選んでください。リクルートスーツは就職活動だけでなく、入社後の新入社員研修の期間も着用し、その後ビジネススーツに切り替えている人が多いようです。

就活におけるリクルートスーツ選び・着こなしの基準は、「お洒落・見栄えがよい」ということではありません。第一印象で「余計なことで損をしない」という基準で選ぶようにしましょう。リクルートスーツをきちんと正しく着ることが、好印象を与える第一歩です。スーツをビシッと着こなし自信を持って面接に挑みましょう。



色味は黒以外の「ダークスーツ」

現在の市場ではストライプやシャドーチェックといった柄が入っていない、無地の黒色やブラックネイビーカラーのスーツが一般的です。

＜新入社員が避けるべきスーツの色＞

ライトグレーやライトブルーなどの鮮やかな色。薄い色合いのスーツはカジュアルな印象があるため、職場やシーンによっては NG とされることもあります。また、ブラウンやベージュなども悪目立ちしてしまうので避けるのがベターです。



ピンストライプや生地の織り方によって模様を表現している「織柄」は避けてください。

大きいスーツは冴えない印象。

ジャケットがだぶついていると着映えがせず、覇気が感じられません。仕事ができそうな印象を与えるためには、ジャストサイズのスーツが必要です。

細すぎるスーツも就活には不適切。

ファッションとして細めにフィットするスーツはありますが、リクルートスーツには適しません。目安は、ボタンを留めた状態で腹部に横じわが入らないサイズ感。つり革につかまる動作をしたときに、脇が引っ張られる感覚が強いジャケットやはいたときにポケットが開いてしまうパンツは NG です。また、パンツの丈は、立った状態で靴下が見えない長さにしましょう。

試着時には実際に動いてみる。

立ったり、椅子に座ったり、しゃがんだりといった動きに対応するサイズ感であることが大切です。試着の際は、ぜひこうした動きをしてみてください。視覚的にも横じわが入っていないか、逆にだぶつきがないか確認を。

アンボタンマナー

男性の場合、上着やベストの「一番下」のボタンは留めないという「アンボタンマナー」があります。

ワイシャツの色柄

就活用のワイシャツは「白無地」が基本

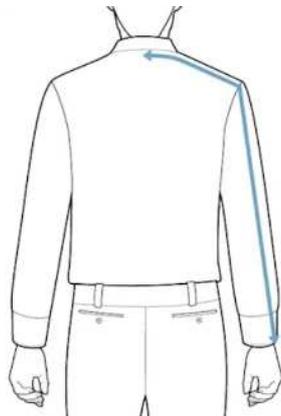


生地織り方によって模様を表現している「織柄」は避けてください。

ワイシャツのサイズ感

首周りのサイズ感。第一ボタンを閉めたときに指が一本入るくらいを目安にしてください。

また、裾丈のサイズも注意すべきポイントのひとつ。裾丈とは首の付け根中央～手首の付け根に至る部分のこと。ジャケットの袖口から1～2cm 出るくらいがベストといわれています。



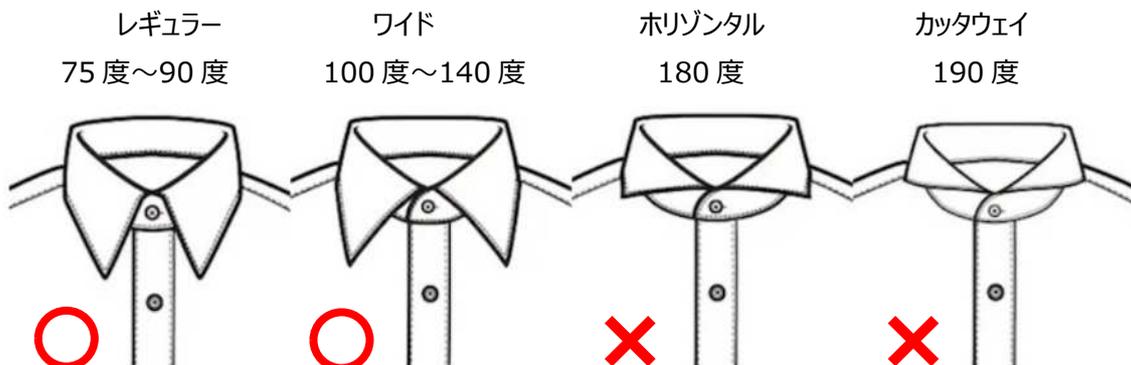
裾丈



首回り

ワイシャツの襟

襟は「レギュラー」か「ワイド」



以下のシャツはカジュアルになるので避けてください

クレリックシャツ



襟が白く、身頃（みごろ）の部分と色違いになっているシャツ

ボタンダウンシャツ



クールビズのノーネクタイスタイルに向いている
ビジネスカジュアル

襟裏切り替えシャツ



クールビズのノーネクタイスタイルに向いている
(ネクタイをつけないとき首元にアクセントを与える)

インナー

インナーは「白」か「ベージュ」 TシャツはNG

インナーが透けているとだらしない印象を与えてしまうため、ワイシャツを着るときのインナーは「白」か「ベージュ」を選んでください。

Tシャツを着るとワイシャツの襟もとからTシャツの襟が見えたり、ネクタイを縛ったときにバランスが悪くなるので避けてください。

靴下

スーツの色と合わせ、丈はふくらはぎより長いものをはく

面接官はスーツを着慣れた大人たち。装いのマナーを知っているか、わかっているかと足元までしっかり見られます。



くるぶし丈の靴下



ずり落ちている靴下



厚手生地 of 靴下



カジュアルな靴下



スーツの形

「スカート」「パンツ」どちらもOK

個性の時代といわれていても、スーツは「マナーを守って着こなせていること」が最重要とされるもの。ジャケット・ボトムスの形や色、またパンツかスカートかでも与える印象は大きく異なります。

ワイシャツの色柄

就活用のワイシャツは「白無地」が基本



生地織り方によって模様を表現している「織柄」は避けてください。

ワイシャツの襟

レギュラー

襟は「レギュラー」か「スキッパー」

スキッパー

フリルシャツ

ギャザーシャツ

襟をスーツの上に出します



ウエストサイズ

スカート・パンツのウエストを直す

スカート・パンツのウエストが緩い場合や、着丈が足りていない場合は、シャツの裾がパンツの外に出て見た目が悪くなります。自分のウエストに合わせてお直しをしてください。

スカートの丈

「ヒザが隠れるくらいの長さ」で

スカート丈の長さは、椅子に座ったときのことを考え、ヒザが隠れるくらいの長さにします。椅子に座った際、スカートは上にあがり、丈が短くなります。そうすると、脚が多く見えてしまうため、だらしない印象を与えてしまうことになります。また、スカートが長すぎても、だらしない印象を与えてしまいますので、ヒザが隠れるくらいの長さがちょうど良いのです。

インナー

インナーは「白」か「ベージュ」 TシャツはNG

インナーが透けているとだらしない印象を与えてしまうため、ワイシャツを着るときのインナーは「白」か「ベージュ」を選んでください。

ストッキング

ナチュラルなベージュを基本に

女性のスーツスタイルではストッキングを履くことがマナーとされており、パンツを履いている場合でもスカートを履いている場合でもそれは変わりません。靴下を履くとカジュアルに見えすぎるため、ビジネスシーンにおいては避けましょう。素足でパンツを履くのもマナー違反とされているため注意が必要です。

スーツに合わせるストッキングはナチュラルなベージュを基本にし、柄物などの派手なものは避けましょう。